

ガスケット・パッキン 発注前チェックシート & 材質選定早見表

シール材のトラブルのほとんどは「材質選定ミス」と「取付ミス」で起きています。このシートで事前確認を行い、最適なシール材を選定してください。

川島産業株式会社 | 図面不要・1個から対応・48時間以内ご回答 | TEL: 052-461-4156 (平日9:00~17:30)

① 発注前 確認チェックリスト

<input type="checkbox"/>	使用液体の種類（水・油・薬品・蒸気など）を確認した	▶ 薬品の場合は種類・濃度も確認
<input type="checkbox"/>	設置環境（屋内 / 屋外）と使用温度範囲を確認した	▶ 60°C超ならフッ素ゴム・PTFE検討
<input type="checkbox"/>	動く部分か・止まっている部分かを確認した	▶ 動く→パッキン / 静止→ガスケット
<input type="checkbox"/>	フランジ規格（JIS・ANSI等）または現物サイズを確認した	▶ 不明な場合は現物写真でもOK
<input type="checkbox"/>	現在使用中の材質・型番を控えた	▶ 「同じもの」でも材質確認が重要
<input type="checkbox"/>	必要数量を確認した	▶ 1個からでも相談可
<input type="checkbox"/>	図面の有無を確認した（なくても相談可）	▶ ラフスケッチ・写真でも対応可
<input type="checkbox"/>	使用圧力（低圧・高圧・真空）を確認した	▶ 高圧→PTFE・金属ガスケット検討

② シール材 材質選定早見表

材質	耐油性	耐水性	耐熱性（目安）	耐薬品性	コスト	主な用途
NBR（ニトリル）	◎	△	△ ~100°C	△	低	油圧・燃料・空圧系
EPDM	△	◎	○ ~150°C	○	低	水・蒸気・屋外用途
フッ素ゴム（FKM）	◎	○	◎ ~200°C	◎	高	薬品・高温・化学プラント
シリコンゴム	△	○	◎ ~200°C	△	中	食品・医療・高温環境
PTFE（テフロン）	◎	◎	◎ ~260°C	◎	高	強酸・強アルカリ・溶剤

鉄則①

動くか・動かないかを
まず確認！

動く部分 → パッキン
静止部分 → ガスケット
間違えると即トラブル

鉄則②

材質は流体・温度・
圧力で決まる！

油 → NBR
水・蒸気 → EPDM
薬品 → フッ素 / PTFE

鉄則③

シール材は消耗品！
定期交換を忘れずに

放置 → シャフト損傷
→ 高額修理に発展
早めの点検・交換が鉄則

川島産業株式会社 | 工業用ゴム・プラスチック部品の専門商社

TEL: 052-461-4156 (平日9:00~17:30) | お問い合わせ: <https://kawashimasangyo.co.jp/enquiry/>

図面不要・1個から対応・48時間以内ご回答・NDA (機密保持) 対応